

我が国の歴史上の事象について、課題を追究したり解決したりする活動の充実に関する実践

日時 令和4年9月16日(金)

対象 葛巻町立葛巻小学校 第6学年 1クラス

指導者 総合教育センター 研修指導主事 千葉 孝行
葛巻町立葛巻小学校 教諭 藤原 充利

1 単元名
小学校 第6学年 社会科 幕府の政治と人々の暮らし

2 単元の目標		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解することができる。 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史的な事象を捉え、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、文章で記述したり説明したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な事象について、自ら疑問を見つけ、その答えを予想し、何をどのように調べればいいのかを計画するなど、主体的に学習の問題を解決しようとする態度をもつことができるようにする。

3 単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ②調べたことを文章にまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え表現している。 ②参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について調べ、これらに関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて
<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に学習問題を見だし、「なぜ、江戸幕府が長く続いたのか」という疑問をもつことができるように、鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府が政治を行った年数を比較する資料を提示する。 学習問題の解決に向けた見通しをもつことができるように、学習問題に対する予想や検証方法を考える学習活動を設定する。その際、児童同士の意見交流を行いながら、「江戸幕府がどのような政策を行い、どのように人々を支配したのか」などのような具体的な方向に考えがまとまるようにする。 児童が「江戸幕府の政策のねらい」に気付き、学習問題の解決を図ることができるように、1単位時間で身に付けた「江戸幕府の政策についての個別の知識」を個人やグループでの対話の中で関連付けたり活用したりする学習活動を設定する。 江戸幕府が行った政策について多角的な視点から考えることができるように、「支配する側(武士)」と「支配される側(百姓、町人など)」のそれぞれの立場から「幕府の政策」について考える学習活動を設定する。

5 情報活用能力について			
本単元の実践で、児童に必要なICTの基本操作			
<input type="checkbox"/> PCの起動や終了	<input type="checkbox"/> 写真や動画の撮影	<input type="checkbox"/> 写真や動画の視聴	<input type="checkbox"/> 写真や動画の編集
<input type="checkbox"/> 文字の入力	<input type="checkbox"/> ファイルの呼び出し・保存	<input type="checkbox"/> アプリケーションの操作	<input type="checkbox"/> ブラウザでのインターネット検索
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> 問題解決のための活用	<input type="checkbox"/> クラウドの協働作業	<input type="checkbox"/> 情報モラル・情報セキュリティ

6 単元の指導と評価の計画（全6時間）				
時	ねらい	重点	記録	評価方法と【評価規準】
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府、室町幕府と江戸幕府の期間を比較し、江戸幕府が他の二つよりも長いことに気付き、学習問題を見いだすことができるようにする。 	思		【思一①】〔発言・記述〕 三つの幕府が政治を行った年数を比較することで問題を見いだしているかを確認する。
	単元の学習問題 なぜ、江戸幕府は鎌倉幕府や室町幕府より長い期間続いたのだろうか。		態	【態一①】〔発言・記述〕 大名や民衆を厳しく統制したことを予想し、江戸幕府が行った様々な政策を調べる計画を立て、解決の見通しをもっているかを確認する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 大名たちが幕府から大きな負担をかけられても抵抗することができなかつたことから学習問題を見いだすことができるようにする。 武家諸法度や大名の配置、幕府領と各地の大名領の比較から調べたことを関連付けて、幕府と大名がどのような関係になっていたのかを明らかにできるようにする。 	知		【知一①】〔記述〕 「抵抗しそうな大名を江戸から離して配置するなどの工夫や大名に対する法令（武家諸法度）を定めたことで全国の名門を統制したことを理解しているか」を確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 幕府への抵抗勢力は大名だけなのかを考えることから民衆の統制について問題を見いだすことができるようにする。 身分制について調べることで、江戸幕府の人々に対する支配の仕組みを明らかにできるようにする。 	思		【思一②】〔記述〕 「江戸時代の身分制について調べ、関連付けたり総合したりして、江戸幕府の人々に対する支配の仕組みを文章で説明しているか」を確認する。
4	<ul style="list-style-type: none"> 幕府の外交政策の変化から鎖国政策について問題を見いだすことができるようにする。 鎖国の経緯を明らかにできるようにする。 	知		【知一①】〔記述〕 「江戸幕府が外国との交流を絶った経緯を理解しているか」を確認する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 鎖国を行う上での弊害を考えることで、鎖国下での外交について問題を見いだすことができるようにする。 鎖国をすることによって、幕府の政策や人々の生活にどのような影響が出るのかを明らかにできるようにする。 	知		【知一①】〔記述〕 「鎖国下において一部の外交を続けることで幕府が貿易や海外の情報を独占したことを理解しているか」を確認する。
6	単元の学習問題のまとめ（例） 江戸幕府が他の幕府よりも長く続いたのは、武士による政治を安定させるため（長く続けるために、参勤交代や鎖国、身分制などの仕組みを整えたから。			
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で身に付けた知識を関連付けて文章にまとめ、江戸幕府が行った様々な政策の意図を明らかにできるようにする。 武士の政治が安定することで人々の生活にどのような影響が出るのかを明らかにできるようにする。 	知	○	【知一②】〔記述〕 「江戸幕府が行った様々な政策により武士による政治が安定したことを理解しているか」を確認する。
		思	○	【思一②】〔記述〕 「江戸幕府の様々な政策を関連付けたり、総合したりして、政策の意図を考え、文章で記述したり説明したりしているか」を確認する。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

江戸幕府が鎌倉幕府、室町幕府よりも長い期間続いたことに着目し、主体的に学習問題を見だし、答えを予想し、どのようなことを調べれば解決できるか学習計画を立てることができる。

(2) 学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習			B 個別学習			C 協働学習				
挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。			デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。			タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。				
A1 教師による教材の提示  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用			B1 個に応じた学習  一人一人の習熟の程度等に応じた学習		B2 調査活動  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録		C1 発表や話し合い  グループや学級全体での発表・話し合い		C2 協働での意見整理  複数の意見・考えを議論して整理	
B3 思考を深める学習  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習			B4 表現・制作  マルチメディアを用いた資料、作品の制作		B5 家庭学習  情報端末の持ち帰りによる家庭学習		C3 協働制作  グループでの分担・協働による作品の制作		C4 学校の壁を越えた学習  遠隔地や海外の学校等との交流授業	

「教育の情報化に関する手引-追補版-」2020年6月 文部科学省

(3) コンピュータでできること

	個別のドリル学習
	試行錯誤する
<input type="radio"/>	写真撮影する
	念入りに見る
<input type="radio"/>	録音・録画と再視聴
<input type="radio"/>	調べる
	分析する
	考える
<input type="radio"/>	見せる
<input type="radio"/>	共有・協働する
<input type="radio"/>	その他 (遠隔地とつなぐ)

(4) 活用するICT機器等

<input type="radio"/>	PC (ノート・タブレット)		電子黒板		大型テレビ
	書画カメラ	<input type="radio"/>	ウェブブラウザ		デジタル教科書
<input type="radio"/>	プロジェクター (スクリーン)	<input type="radio"/>	授業支援ソフト		動画コンテンツ
<input type="radio"/>	プレゼンテーションソフト		ドリル教材	<input type="radio"/>	ウェブ会議システム
	その他 ()				

(5) 学習場面でのICTの活用の仕方、目指す児童の姿

本時では、「江戸幕府が鎌倉幕府、室町幕府よりも長い期間続いたことに着目し、主体的に学習問題を見だし、答えを予想し、どのようなことを調べれば解決できるか学習計画を立てる」ことを目指す。問題解決的な学習過程においては、単元の導入における児童の問題意識の醸成が重要なポイントとなる。そこで、学習問題を児童が主体的に設定すること、学校の壁を越えた調査活動を可能にすること、児童の学習履歴を保存すること、これらができるようにICTを効果的に活用していく。

【A 一斉学習】 [A1：教員による教材の提示]

単元の導入では、鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府が政治を行った年数を比較した帯グラフの読み取りを行う。PowerPointを使用し、帯グラフにアニメーション機能で動きを付けることにより、三つの幕府がどのくらい続いたのかを予想しながら比較することができる。また、読み取った内容を全員で共有し、疑問を見付け、学習問題を設定することができる。

【B 個別学習】 [B3：思考を深める学習]

単元末では、1単位時間毎に学習した個別の知識を関連付けたり総合したりして学習問題についての考えをまとめる活動を行う。教師機のカメラ機能で撮影した板書の内容やMicrosoft Formsで回収した児童の振り返りをMicrosoft Teamsのクラウドに保存しておくことにより、まとめる場面での情報源として活用することができる。

【C 協働学習】 [C4：学校の壁を越えた学習]

学校から離れた学習資源を活用した調査活動を行うためにウェブ会議を活用する。地元の歴史文化館の学芸員の方とオンラインでつながることで教科書の内容からは得ることができない、身近な地域の歴史に触れながら単元の学習を始めることができる。

(6) 本時の指導案 (1/6)		
	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点 ■活用するICT機器等)
導入 5分	1 前時までの既習事項から学習問題を見いだす。	■ 大型提示装置、プロジェクター、PowerPoint 教師による教材の提示 [A 1] ・前時に扱った「江戸図屏風」を提示し、これから江戸幕府が行った政策の学習に入ることを確認する。 ・鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府の期間を比較し、それぞれの時代が続いた長さに着目させ、学習問題につなげる。 ◇江戸時代が他の時代よりも長く続いたことに着目し、問題を見いだしているかを確認する。【思考・判断・表現】
	2 単元の学習問題を把握する。	
	単元の学習問題 なぜ、江戸時代は鎌倉時代や室町時代より長い期間続いたのだろうか。	
展開 30分	3 単元の学習問題について予想する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (例) 幕府の命令に従わなかったときには、厳しい罰を与えるような決まりを作ったから。 </div>	・当て推量にならないように、伝聞や書籍、テレビなどから得た情報を根拠に予想させる。 ・多様な考えを収集し、左に記載したような考えに焦点化する。 ・江戸幕府が行った政策と意図について教科書や資料集に掲載されている資料を使って調べれば課題解決につながることに気付くことができるようにする。 ・どのような政策を行ったか知っていることはないかを問い、出てこなかった場合には、教師側で大名行列を紹介する。 ◇大名や民衆を厳しく統制したことを予想し、江戸幕府が行った様々な政策を調べる計画を立て、解決の見通しをもっているかを確認する。【態度】 ■ ウェブ会議 (Microsoft Teams)、大型提示装置 学校の壁を越えた学習 [C 4] ・加賀藩 (石川県) の大名行列の想像図から気付いたこと、疑問に思うことを書き出すことができるようにする。 ・盛岡藩 (岩手県) では行われていなかったのかについて歴史上の事象が身近な話題となるように配慮する。 ・児童から出された気付きや疑問について学芸員の方から説明してもらおう (このような調べ学習もあることを伝える)。 ・説明の様子を録画しておく。 ・黒板にまとめ、授業終了後にタブレットのカメラ機能で板書の内容を撮影する (学習記録として撮影することを児童へ伝える)。 ・次時へのつなぎとして、大名にとって大きな負担だったことは必ずクラス全体で確認する。
	4 課題解決のための見通しをもつ。	
	5 盛岡藩の大名行列について、どのような政策だったのか学芸員の方にインタビューをする。	
	6 学芸員の方からの回答を整理する。	
終末 10分	7 本時の学習についての感想を書く。	■ タブレットPC、Microsoft Teams、Microsoft Forms 思考を深める学習 [B 3] ・振り返りフォームに本時の学習の進め方について感想を打ち込むことができるようにする。タイピングに自信のない児童へは、手書き用の学習シートを配付する (児童が選択できるようにする)。 ・本時で解決できなかった疑問を次時の学習問題に設定して解決していくことを伝える。
	8 次時への見通しをもつ。	